

# 海況情報収集迅速化システム開発試験事業（抄録）

森 脇 晋 平

## 1. 事業の目的

日本海における水塊配置や水温分布等海況は、対馬暖流の流路の形態や暖流によって運びこまれる熱量によって規定されているが、対馬暖流は黒潮などに比べて弱く時空間的に変動が激しいことから、海況情報を迅速に収集するためには当該海域の海洋構造等特性を踏まえた新たな海況情報収集体制の構築、その収集体制を支援する情報収集システムの構築等が必要となってくる。

このため、平成4年度より日本海を対象とし、当該海域のより迅速かつ詳細な海況情報を得るための収集システムを開発することを目的とし必要な基礎資料、システム検討等を行う。

なお、詳細は「平成5年度海況情報収集迅速化システム開発試験事業報告書」（漁業情報サービスセンター）に報告されているのでここでは調査の概要について述べる。

## 2. 調査の概要

国庫補助で実施されている漁海況予報事業および200カイリ資源評価の観測定線でADCP（超音波ドップラー式流向流速計）を用いて流向・流速を測定し、併せてCTDによる海洋観測を実施する。得られたデータから対馬暖流の流入口および流出口付近での流路や流量の変動実態を検討する。

## 3. 調査結果の概要

島根県海域の流況の特徴

- ① 4 - 5月：132° E線以東では北東流が卓越。それ以西では東 - 南東流。
- ② 6月：132° E線上の流れは弱い。それ以西では東流が卓越。
- ③ 8月：132° E線上10m層では北流、50m層では北東流。50m層の132° E線上の距岸30マイル付近に流れの弱い海域が認められる。
- ④ 9月：131° E線上の距岸15マイル、45-55マイル付近および132° E線上距岸20マイル付近に流れの弱い海域が認められる。川尻沿岸で南 - 西流が観測された以外は東 - 北東流が卓越。
- ⑤ 10月：北東流が卓越し、4 - 5月の流況と類似。
- ⑥ 11月：距岸20-30マイル付近を境にして沖側で北東流、岸側で南西流が卓越。
- ⑦ 3月：132° E線上以東では北東流、それ以西では南 - 南東流。
- ⑧ 10m層と50m層との水深による流れの差異は、8月の132° E線を除き認められない。